

官民ラウンドテーブルの作業部会報告

平成25年9月26日(木)

金融庁

金融庁の官民ラウンドテーブルの概要

- 金融審議会「我が国金融業の中長期的な在り方に関するワーキング・グループ」報告書（平成24年5月28日公表）を踏まえ、我が国金融業の向上・活性化に向けて、官民が持続的な対話を行う場として平成24年9月に設置。
- 官民ラウンドテーブルの会合において、官民が検討すべき課題を決定。その後、課題毎に実務家レベルの作業部会を設けて議論の上、その成果を官民ラウンドテーブルの会合に報告・公表（これまでの開催実績：第1回会合-平成24年9月25日、第2回会合-平成25年5月13日）。
- 官民ラウンドテーブル参加機関
全国銀行協会、全国地方銀行協会、第二地方銀行協会、信託協会、
全国信用金庫協会、全国信用組合中央協会、生命保険協会、日本損害保険協会、
日本証券業協会、農林中央金庫、(株)国際協力銀行、(株)日本政策金融公庫、
(株)日本政策投資銀行、日本銀行、金融庁

金融庁の官民ラウンドテーブルの作業部会報告(抜粋)

【官民ラウンドテーブル「高齢化社会に対応した金融サービスの向上」作業部会報告(25年5月)】

- ◆ リバースモーゲージについては、中古住宅の売買市場が未成熟なもとで、上物(うわもの)の転売価格が見通しづらい。…個々の金融機関に対して、中古住宅の資金化を円滑にするローン商品や担保評価手法の開発が期待されるところではあるが、リバースモーゲージの利用拡大のため、より本質的には、中古住宅売買市場の機能向上が必要となる。こうした問題意識は、国土交通省「中古住宅・リフォームトータルプラン」(平成24年3月)においても共有されている。
- ◆ 中古住宅売買市場の機能向上にむけて、本作業部会では、中立的かつ専門的な立場から住宅の劣化状況や欠陥の有無等を診断するインスペクションの実施(住宅性能評価の付与を含む)を通じて、担保住宅の品質が確認し易くなることや、この確認結果を踏まえて、中古住宅の価格形成がなされていく重要性が共有された。…これらを踏まえ、関係業態と金融庁は、国土交通省住宅局長の私的勉強会として開催されている「中古住宅の流通促進・活用に関する研究会」に参画し、現状報告や意見表明を行っている。
- ◆ 本作業部会では、中古住宅の資金化を円滑にするという中長期的な観点から、中古住宅の売買市場の整備状況の把握に努めるとともに、民間金融機関と政府系金融機関の間における担保割れリスク共有の健全な在り方について、住宅建築や住宅金融に関わる幅広い官民の主体と連携しながら検討を深めていく重要性が共有された。